

質問者	通告 4 番 1 番 鈴木 磯美 議員	通告時間 50 分
		答弁者 町 長
質問事項	1 大井町の防災体制について	
要 旨	<p>町は地域防災計画に基づき防災・減災対策を進めている。しかし、近年全国では想定以上の自然災害が発生し対応に苦慮しており、近い将来当町にも起こり得ると予想される。そこで「自らの身は自ら守る」・「自分たちの町は自分たちで守る」との観点から町民の防災意識の高揚を図る事が大切と考え以下のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町指定の避難所・避難場所である、「いこいの村あしがら」との協定は。 2 町指定の避難所・避難場所に配置されている防災倉庫の備蓄内容は適切か。 3 毎月 15 日に実施している自主防災組織との無線訓練の内容等を見直す考えは。 4 防災訓練時に自主防災組織が実施する訓練に対する指導・助言は。 5 災害時の物資搬送体制を確保するため民間事業者等との協定は。 6 職員異動時における防災教育の現状は。 7 現在、自主防災活動推進事業費等補助金は世帯数により補助されているが、小規模な自主防災組織では高額な防災資機材の購入できない状況にある。対応策は。 	